

APIR Trend Watch No. 77

足下の関西・台湾間貿易に基づく台湾の CPTPP 加盟による影響の考察*

研究員 郭 秋微

要旨

2021 年 9 月 22 日、台湾が環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(以下 CPTPP)への加盟申請を行った。台湾は関西にとって中国と米国に次ぐ重要な貿易相手である(ASEAN と EU を除く)。本稿は、台湾の加盟が関西の産業に与える影響を考察した。

具体的に、貿易統計のデータを詳細に分析することで、関西・台湾間における貿易の特徴を明らかにするとともに、台湾が CPTPP に加盟した場合、関税撤廃により関西の産業がどのような影響を受けるかを示した。加えて、関西企業のグローバル・サプライチェーン構築に台湾の CPTPP 加盟が及ぼす影響について考察した。

分析の結果、台湾が CPTPP に加盟した場合、電子部品・デバイス・電子回路製造業、機械器具製造業、電気機械器具製造業、化学工業、非鉄金属製造業、自転車・同部分品製造業等、関西の主要産業の多くは関税撤廃によって価格競争力が強化されることがわかった。関西の対台湾輸出の主要品目である電子部品・デバイス、電気機器及び機械類において、海峽兩岸経済協力枠組協定によって低い関税率が適用されている中国は関西の最大の競争相手となるが、関税撤廃によって関西企業の対台湾輸出が拡大することが期待される。一方、化学工業、プラスチック製品製造業、卑金属製造業等は価格が低下した輸入品の増加による負の影響を受ける。なお、関税削減率を試算したところ、関西が輸出で得られる関税削減率の方が、輸入で台湾に与える関税削減率を上回ることから、加盟は台湾よりも関西に大きな関税削減効果を与える。

また、関西と台湾は主要産業において産業内分業体制が築かれており、台湾が CPTPP 加盟国となった場合、完全累積制度の下で原産地規則を満たすことがより容易になるだけでなく、輸出入のコスト削減と貿易手続きの簡素化が可能となろう。加えて、投資と通商に関するルールが共有されることで、台湾と連携したグローバル・サプライチェーンの構築がより容易となる。日台間の産業協力が更に促進されることで、産業の競争力が向上し、互いの利益増加に繋がることが期待される。

* 本稿の作成にあたり、APIR 研究統括兼数量経済分析センター長稲田義久氏、調査役兼研究員木下祐輔氏及び研究推進部員吉田茂一氏から大変有益なコメントをいただいた。なお、本稿における誤りは全て筆者の責任である。

1. はじめに

2021 年 9 月 16 日、中国が環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(以下 CPTPP)への加盟申請を発表し、その後 9 月 22 日に台湾も加盟申請を行った。メガ FTA のメンバー拡大は、関税撤廃によって輸出品・輸入品の価格競争力を変化させるだけでなく、グローバル・サプライチェーン構築の戦略にも影響を及ぼす。関西にとって、台湾は中国と米国に次ぐ重要な貿易相手であり、特に電子部品・デバイス・電子回路製造業や機械器具製造業において両者の間に緊密な関係がある¹。台湾が CPTPP に加盟した場合、関西経済にどのような影響を及ぼすかを調べることは重要なトピックといえよう。

本稿の目的は、台湾の加盟が関西の産業に与える影響を考察することである。貿易統計のデータを詳細に分析することで、関西・台湾間貿易の特徴と現状を明らかにし、関税撤廃によって価格競争力が変化する産業を示す。そして、関西企業のグローバル・サプライチェーン構築に台湾の CPTPP 加盟が及ぼす影響を考察する。

台湾の加盟申請に関する記事や評論は多くあるが、関西の産業に与える影響について論じたものは少ない。国際情勢などの関係で、台湾の加盟に関わる交渉には時間がかかると予想され、交渉結果への見通しが立たない中、本稿の分析結果は関西企業にとって将来の経済環境の変化を考えるうえでの有益な判断材料となろう。

2. 関西・台湾間貿易の特徴と現状

台湾が CPTPP に加盟した影響を考察する前に、まず関西の対台湾貿易の現状と特徴について概観する²。図表 1 は関西の輸出と輸入それぞれにおいて、貿易金額が上位 7 位までの国・地域を示している。輸出では、台湾は全体の 11.9%を占めており、中国、ASEAN と米国を次いで第 4 位の貿易相手である。輸入では、全体の 5.3%を占めており、中国、ASEAN、EU と米国を次いで第 5 位となっている。ASEAN と EU を除くと、台湾は輸出入の両方において中国と米国を次いで第 3 位の貿易相手である。なお、全国と比べても、関西の対台湾貿易が輸出入全体に占めるシェアは高い(全国：対台湾輸出が全体に占めるシェア 5.8%、輸入 3.5%)。関西には電子部品・デバイス・電子回路製造業、機械器具製造業、化学工業などが集積しており、同様な主要産業を持つ台湾との間に産業内の分業体制が築かれており、高度な相互補完関係があるためである(李 2021)。

¹ 本稿で言及された産業名は日本標準産業分類(平成 25 年 10 月改定)を参照している。機械器具製造業ははん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、一部の業務用機械器具製造業(事務用機械器具製造業とサービス用・娯楽用機械器具製造業)が含まれている。

² 本稿で、関西とは滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の 2 府 4 県を指す。関西と台湾の間の貿易データは、2 府 4 県に所在する税関官署の『貿易統計』(財務省)データを集計した結果である。具体的な税関官署は、大阪、大阪航空貨物、堺、岸和田、関西空港、宮津、京都、滋賀、舞鶴、下津、和歌山、田辺、新宮、神戸、尼崎、姫路、相生、東播磨である。

図表 1 関西の貿易相手

順位	輸出		輸入	
	国・地域名	シェア	国・地域名	シェア
1	中国	28.9%	中国	32.5%
2	ASEAN	17.6%	ASEAN	15.0%
3	米国	15.1%	EU	13.1%
4	台湾	11.9%	米国	8.9%
5	EU	11.0%	台湾	5.3%
6	韓国	7.3%	オーストラリア	4.8%
7	香港	6.5%	韓国	4.4%

出所：財務省『貿易統計』（2021 年 1 月～11 月累計）

2.1 関西の対台湾輸出の内訳

図表 2 は HS コード 4 桁で見た関西の対台湾輸出金額上位 50 品目を集計したものである³。内訳を見ると、半導体関連製品は最も重要な輸出品目であり、対台湾輸出の半分程度(50.9%、内訳：半導体 40.5%、製造装置や測定用又は検査用機器 9.2%、半導体材料 1.1%)を占めている。次に輸出シェアが高いのは半導体を除いた電子部品・デバイスであり、全体の 8.4%を占めている⁴。他にも、プラスチック及びその製品(同 4.4%)、化学工業の生産品(同 3.7%)、機械類(半導体等製造装置を除く)(同 3.2%)、卑金属及びその製品(同 1.9%)、自転車の部分品及び附属品(同 1.4%)などもシェアが高いことがわかる。

³ 輸出入の内訳を詳細に把握するために、本稿では貿易統計の概況品目ではなく、HS コード 4 桁で見た上位 50 品目を調べている。上位 50 品目が輸出全体に占める割合は 83.3%、輸入では 81.1%であり、全体の 8 割程度をカバーしている。なお、再輸出品(輸出シェア 5.6%)及び再輸入品(輸入シェア 16.5%)は含まれる製品の内容は公表されていないため、分析から除いている。

⁴ 電子部品・デバイスは、半導体、ディスプレイデバイス、電子部品の 3 種類に分けられる。そのうち、半導体は半導体素子、集積回路(メモリー、マイクロ、ロジック、アナログ等)、その他(オプトエレクトロニクス、センサ)に分けられる。ディスプレイデバイスは、液晶デバイスの他に、有機 EL やマイクロ LED 等も含まれている。電子部品は、半導体とディスプレイ以外全ての電子部品を指す。受動部品(コンデンサー、抵抗器、トランス、コイル等)、接続部品(スイッチ、コネクタ等)、変換部品(音響部品、センサ等)、その他(電子回路基板、電源部品、高周波部品等)が含まれている。参照：JEITA 電子情報技術産業協会『調査統計ガイドブック 2021-2022』(https://www.jeita.or.jp/japanese/stat/pdf/executive_summary_2020_2021.pdf, 2021 年 1 月 23 日閲覧)。

図表 2 HS コード 4 桁で見た関西の対台湾輸出金額上位 50 品目の集計

順位	品目名	HS コード	輸出シェア
1	半導体(個別半導体；集積回路)	8541, 8542	40.5%
2	半導体等製造装置；半導体ウエハー又は半導体デバイスの測定用又は検査用の機器	8486, 903082, 903141	9.2%
3	半導体を除いた電子部品・デバイス (一般電子部品；液晶フィルム；液晶デバイス)	8504, 8507, 8532, 8534, 8536, 8537, 8538, 8548, 900120, 9013	8.4%
4	プラスチック及びその製品	3907(390730 を除く), 3919, 3920, 3921, 3926	4.4%
5	化学工業の生産品	2804, 2902, 2903, 3004, 3204, 3208, 3304, 3824	3.7%
6	機械類(半導体等製造装置を除く)	8411, 8419, 8421, 8429, 8479, 8481, 8482	3.2%
7	卑金属及びその製品(鉄鋼、銅及びその製品)	7207, 7228, 7403	1.9%
8	自転車の部分品及び附属品 ⁵	8714	1.4%
9	半導体材料(レジスト；元素を電子工業用にドーブ処理したもの、化合物を電子工業用にドーブ処理したもの；エポキシ樹脂)	370790, 3818, 390730	1.1%
10	電気機器(電動機及び発電機、電気機器)	8501, 8543	0.8%
11	石その他の鉱物性材料の製品；フロート板ガラス及び磨き板ガラス	6815, 7005	0.6%
12	雑品 ⁶	9504, 9619	0.6%
13	貴金属(金)	7108	0.6%
14	精密機器(測定用又は検査用の機器及び輪郭投影機)(半導体用の物を除く)	9031(903141 を除く)	0.5%
15	電話機(携帯回線網用その他の無線回線網用の電話を含む。)及びその他の機器	8517	0.2%

出所：財務省『貿易統計』(2021 年 1 月-11 月累計)より筆者作成。輸出シェアは輸出金額で計算されている。

注：統計品と概況品の分類を参考に、性質が近いと思われる製品をまとめた品目ごとに順位をつけている。集計されていない上位 50 品目の順位については、参考図表 1 を参照。

⁵ HS 8714 には自転車の部分品及び附属品の他に、モーターサイクル及び補助原動機付きの自転車並びにサイドカークの部分品及び附属品、及び身体障害者用又は病人用の車両の部分品及び附属品も含まれている。しかし、対台湾輸出では、自転車の部分品及び附属品は HS 8714 全体の輸出金額の 99.9%を占めている。便宜上品目名を自転車の部分品及び附属品とする。

⁶ HS 9504：ビデオゲーム用のコンソール及び機器、遊戯場用、テーブルゲーム用又は室内遊戯用の物品。HS 9619：生理用のナプキン（パッド）及びタンポン、乳児用のおむつ及びおむつ中敷きその他これらに類する物品。

次に、それぞれの品目について台湾の対日輸入依存度を計算し、台湾の輸入市場における関西企業の占める割合を調べる⁷。2020 年の輸入金額を見ると、液晶フィルム(日本からの輸入が全体に占める割合 63.8%)とレジスト(83.5%)など電子部品・デバイスの材料と一部の半導体等製造装置(HS 848610、63.4%)の対日輸入依存度が高い。また、一部のプラスチック製品(HS 392073、94.2%)と化学工業の生産品(HS 320417、66.0% ; HS 320820、81.4%)も対日輸入依存度が高い。一方、対台湾輸出の主要品目である半導体を含み、電子部品・デバイス、電気機器及び機械類(半導体等製造装置を除く)の多くは、台湾の対中依存度が対日依存度を上回っている。これらの産業では、台湾の輸入市場において、中国が関西企業の最大の競争相手となっている。

2.2 関西の対台湾輸入の内訳

図表 3 は HS コード 4 桁で見た関西の対台湾輸入金額上位 50 品目を集計したものである。内訳を見ると、最もシェアが高い輸入品目は半導体(半導体媒体を含む)であり、対台湾輸入全体の 31.6% を占めている。半導体関連製品は輸出入のどちらも首位であるが、輸出は主に実装されていない記憶素子及びフラッシュメモリー(36.5%、以下全体に占めるシェア)、製造装置や測定用又は検査用機器(9.2%)であるのに対して、輸入は主にプロセッサ及びコントローラーとその他の集積回路(20.0%)、ROM と DRAM(7.6%)である。したがって、半導体関連産業では関西と台湾の得意分野が異なっており、補完的関係にあることが窺える。

2 位以下では、卑金属及びその製品(7.9%)、プラスチック及びその製品(4.6%)、化学工業の生産品(4.0%)、機械類(半導体等製造装置を除く)(3.3%)、電子部品・デバイス(半導体を除く。3.3%)、パソコンと電話機及びその他の機器(2.3%)などとなっている。

関西の対台湾輸入依存度が際だって高いのは電子部品・デバイスである。特に半導体のプロセッサ及びコントローラーと DRAM の輸入に占める台湾の割合は、それぞれ 84.3%と 86.9%と 8 割以上となっている。シリコントランジスターとその他の集積回路の輸入にもそれぞれ 57.7%と 40.8%を占める。また、液晶フィルムの輸入は 80.8%を占めている。

⁷ 関西企業の競争地位を調べるのに、本来は台湾の対関西輸入依存度を計算すべきであるが、台湾の貿易データから関西 2 府 4 県との貿易金額を割り出すことができない。そのため、各品目について台湾の対日輸入依存度(輸入全体に占める日本からの輸入の割合)を計算した。なお、データ出所は United Nations Commodity Trade Statistics Database (UN Comtrade)である。

図表 3 HS コード 4 桁で見た関西の対台湾輸入金額上位 50 品目の集計

順位	品目名	HS コード	輸入シェア
1	半導体(個別半導体；集積回路；半導体媒体)	8541, 8542, 852351, 852352, 852359	31.6%
2	卑金属及びその製品(鉄鋼及びその製品、銅及びその製品、卑金属製の工具、道具並びにこれらの部分品)	7208, 7209, 7210, 7219, 7225, 7318, 7326, 7409, 7410, 8204, 8207	7.9%
3	プラスチック及びその製品	3907(390730 を除く), 3920, 3923, 3926	4.6%
4	化学工業の生産品	2804, 2833, 2905, 2907, 3824	4.0%
5	機械類(半導体等製造装置を除く)	8413, 8414, 8466, 8473, 8479, 8481, 8483	3.3%
6	半導体を除いた電子部品・デバイス(一般電子部品；液晶フィルム)	8504, 8507, 8529, 8534, 8536, 900120	3.3%
7	パソコン；電話機(携帯回線網用その他の無線回線網用の電話を含む)及びその他の機器	8471, 8517	2.3%
8	半導体等製造装置；半導体ウエハー又は半導体デバイスの検査用の機器	8486, 903141	1.2%
9	半導体材料(元素を電子工業用にドーピング処理したもの、化合物を電子工業用にドーピング処理したもの；エポキシ樹脂)	3818, 390730	1.0%
10	家具及びその部分品	9403	0.9%
11	貴金属及び貴金属を張った金属	7112	0.9%
12	自動車、モーターサイクルと自転車の部分品及び附属品	8708, 8714	0.8%
13	合成繊維の長繊維の糸；不織布	5402, 5603	0.7%
14	ディスク、テープ、その他の媒体	8523(852351, 852352, 852359 を除く),	0.6%
15	光学用品(コンタクトレンズ、眼鏡用レンズ、その他)	9001(900120 を除く)	0.4%
16	ガラス及びその製品	7006	0.4%
17	測定用又は検査用の機器及び輪郭投影機	9031(903141 を除く)	0.3%
18	冷凍野菜(枝豆)	0710	0.3%

出所：財務省『貿易統計』(2021 年 1 月～11 月累計)より筆者作成。輸入シェアは輸入金額で計算されている。

注：統計品と概況品の分類を参考に、性質が近いと思われる製品をまとめた品目ごとに順位をつけている。集計されていない上位 50 品目の順位については、参考図表 2 を参照。

3. CPTPP の特徴と現状

CPTPP は 2018 年 12 月に発効された。現在の加盟国は日本の他に、ブルネイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、カナダ、メキシコ、チリ、ペルー、オーストラリア、ニュージーランドの計 11 か国である。その規模は、アジア太平洋地域の人口 5 億人(世界の人口の 7%)をカバーし、加盟国の国内総生産の合計は 10 兆ドル(同 13.1%)を超える大きなものである。発足した 11 か国以外にも、イギリスが 2021 年 2 月に初の新規加盟を申請した。同年 6 月に加盟手続きが開始され、現在具体的な品目や関税などについて交渉が行われている。

CPTPP は、物品の関税撤廃やサービス貿易の自由化に加え、非関税分野や新しい分野におけるルール作りを目標としている。関税撤廃では、加盟国全体で関税を撤廃する品目は工業製品の 99%に達するほど、高水準の貿易自由化が求められている。また、原産地規則は完全累積制度が採用され、CPTPP 域内で生産された付加価値が累積で一定の割合以上に達する製品については、無関税で加盟国に輸出できる。そして、ルール作りの面では、投資、知的財産、政府調達など WTO で既にルールが設けられている分野だけでなく、労働、環境などの新しい分野も含まれている。

こうした CPTPP に対して、台湾は 2016 年以降加盟の意向を示すとともに関連法令の整備など準備を進め、2021 年 9 月、加盟申請を行った。CPTPP 加盟国との間で自由貿易協定(FTA)に相当する貿易協定を発効させた国は、現在シンガポールとニュージーランドの 2 カ国のみであるため、加盟による貿易と投資の拡大が期待されている。

一方、中国は 2020 年以降加盟への関心を公言しており、2021 年 9 月に加盟申請を行った。背景には、経済面における投資の呼び込みや輸入拡大の狙いがあるとされるが、CPTPP との間に FTA を発効させた国は既に 9 か国に上っている。そのため、経済面でのメリットより国際的なルール・メイキングへの影響力の強化など、政治的な意図が強いことが指摘されている(川瀬他 2021)。

本稿は経済的な側面に焦点を当てて、台湾の加盟が関西の産業に与える影響について考察する。

4. 関税撤廃による関西産業への影響

4.1 輸出で影響を受ける産業

日本は台湾と同じく世界貿易機関(WTO)加盟国であるため、WTO メンバーへの最恵国待遇(MFN)税率が適用される。WTO の「Tariff Profile」によると、2020 年時点で台湾の平均関税率は 6.8%、非農産品は 4.8%となっている⁸。台湾が CPTPP に加盟した場合、原則的に工業製品の殆ど

⁸ World Tariff Profiles 2021. https://www.wto.org/english/res_e/publications_e/world_tariff_profiles21_e.htm (2021 年 1 月 23 日閲覧)

が無関税となる。以下では、台湾への輸出金額上位 100 品目(HS コード 6 桁)の平均実行関税率を見
ることで、関税撤廃による影響を考える⁹。

輸出金額の半分以上を占める電子部品・デバイスでは、半導体、コンデンサーなどの電子部品・
デバイスは無関税である。また、レジストや液晶フィルムなどの材料、半導体等製造装置、測定用
機器等も無関税である。これは、台湾と日本は共に WTO の情報技術協定(ITA)の参加国であるため、
コンピュータ、デジタル機器、半導体などの情報技術(IT)関連製品の多くで既に関税が撤廃されて
いるためである。

一方で、電子部品の一部(蓄電池、スイッチ、電気制御用又は配電用の盤等)は 0.6~9.2%の平均
実行関税率が課されている。また、輸出シェアが高い化学工業の生産品は 0.9~5%、プラスチック
及びその製品は 2.5~5%、機械類とその部品(半導体製造装置を除く)は 0.6~6.5%、自転車の部分
品及び付属品は 5%の平均実行関税率が課されている。その他の輸出品も 5%以上の平均実行関税率
が課されている品目が多い(図表 4)。

台湾への輸出の大半を占める半導体関連製品は既に無関税であるため、関税撤廃による影響は限
定的といえよう。しかし、電子部品・デバイス・電子回路製造業(IT 関連製品を除く)、機械器具製
造業、電気機械器具製造業、化学工業、非鉄金属製造業、自転車・同部分品製造業など、関西の主
要産業の多くで関税撤廃による価格競争力の強化が期待される。特に 84 類(半導体等製造装置を除
く)と 85 類の製品に関して、台湾の輸入市場での最大の競争相手である中国は、海峽兩岸経済協力
枠組協定(ECFA)によって日本より低い関税率が適用されている。台湾が CPTPP に加盟すれば、価
格競争力での不利な立場が逆転し、関西企業の対台湾輸出が拡大することが期待される。

また、台湾に小売業や製造業の日系企業が多く進出している。日本貿易振興機構(2021)によれば、
台湾における日系企業の原材料・部品の調達先のうち、日本からの輸入調達は 36.0%を占めている。
したがって、現地の日本企業にとって、日本から原材料や部品を調達する際に関税負担が軽減され
るメリットが生じると考えられる。

4.2 輸入で影響を受ける産業

次に、台湾からの輸入金額上位 100 品目(HS コード 6 桁)の関税率を見ると、半導体関連製品、電
子部品・デバイス(半導体を除く)、機械類、電気機器など輸入のおよそ半分を占める品目は全て無
関税である。そのため、関西の主要産業である電子部品・デバイス・電子回路製造業、機械器具製
造業、電気機械器具製造業は関税撤廃による負の影響を受けないと考えられる。

一方で、化学工業の生産品には 0.9~3.9%、プラスチック製品には 0.9~4.8%、鉄鋼製品には
2.8%、非鉄金属とその製品には 2~3%の平均実行関税率が課されている(図表 5)。また、対台湾輸
入全体に占める割合は少ないものの、冷凍野菜には 7.3%、一部の紡織用繊維及びその製品には 3.6

⁹ 輸出では上位 100 品目が全体に占める割合は 83.3%、輸入では 79.0%であり、全体像のおよそ 8 割程度が把握
されている。なお、平均実行関税率は当該品目(HS コード 6 桁)内に含まれた全てのものの MFN 税率の単純平均
である。データ出所は WTO 関税データベース(<http://tariffdata.wto.org/default.aspx>)である。

～6.5%の平均実行関税率が課されている。これらの製品の生産に関わる関西企業は、輸入関税の撤廃によって価格競争力が上昇した輸入品増加による負の影響を受けるだろう。

図表 4 日本製品に対する台湾の輸入関税 (HS コード 9 桁で見た関西側の輸出金額上位 100 品目のうち無関税でないもの)

品目名	HS コード	輸出 シェア	関税率
調製食料品	210390, 210690	0.3%	9.3~17.3%
化学工業の生産品	290321, 291614, 292519, 300490, 320417, 320730, 320820, 340220, 382499	2.4%	0.9~5%
プラスチック及びその製品	390740, 391990, 392051, 392062, 392073, 392099, 392119, 392190, 392690	3.9%	2.5~5%
粉状又は粒状の天然又は人造の研磨材料を紡織用繊維、紙、板紙以外の材料に付着させた物品；黒鉛その他の炭素の製品	680530, 681510, 681599	0.5%	5.5~10%
ガラス及びその製品	700529, 700600	0.4%	6.9~10%
非鉄金属とその製品(精製銅のはく；その他の銅製品)	741011, 741999, 820900	0.4%	2.5~4.5%
機械類とその部品(半導体製造装置を除く)	841199, 841810, 841989, 842139, 845611, 847989, 847990, 848180, 848210, 848340	2.8%	0.6~6.5%
電気機器(電動機；抵抗加熱炉；家庭において使用する種類の電熱機器並びに電熱用抵抗体；その他の機器)	850131, 851410, 851679, 854370	0.9%	0.7~6.3%
電子部品(リチウム・イオン蓄電池；スイッチ；電気制御用又は配電用の盤、パネル、コンソール、机、キャビネットその他の物品；紫外線ランプ等)	850760, 853620, 853650, 853690, 853710, 853890, 853949, 854890	1.7%	0.6~9.2%
自転車の部分品及び付属品	871494, 871496, 871499	1.4%	5%
その他の液晶デバイスおよび光学機器	901380	0.3%	3.8%
自動調整機器でその他の物(サーモスタット等を除く)	903289	0.1%	5%
生理用ナプキン及びタンポン、乳児用のおむつ及びおむつ中敷きその他これらに類する物品	961900	0.3%	5.2%

出所：財務省『貿易統計』（2021 年 1 月～11 月累計）、World Tariff Online Database (2021 年 12 月時点)より筆者作成。

注：性質が近い製品を一つの品目にまとめ、その HS コード(6 桁)、輸出シェアと関税率を示している。詳細は参考図表 3 を参照。なお、関税率は WTO 関税データベースで取得できる HS コード(6 桁)ベースの平均実行関税率(MFN 税率の単純平均)を示す。

図表 5 台湾製品に対する日本の輸入関税 (HS コード 6 桁で見た関西側の輸入金額上位 100 品目のうち無関税でないもの)

品目	HS コード	輸入シェア	関税率
冷凍野菜	071029	0.3%	7.3%
化学工業の生産品	283324, 283329, 290539, 290723, 320611, 382499	3.7%	0.9~3.9%
プラスチック及びその製品	390330, 390720, 390730, 390761, 390769, 390799, 392020, 392062, 392330, 392390, 392690	4.3%	0.9~4.8%
繊維用繊維及びその製品(合成繊維と不織布)	540233, 540761, 560392	0.5%	3.6~6.5%
鉄鋼製品(木ねじ、セルフタッピングスクリュー、その他のねじ及びボルト、ナット)	731812, 731814, 731815, 731816	1.7%	2.8%
非鉄金属とその製品(銅及びその製品、アルミニウム及びその製品)	740921, 741011, 741021, 760611, 761699	1.5%	2~3%

出所：財務省『貿易統計』（2021 年 1 月～11 月累計）、『輸入統計品目表(実行関税率表)(2021 年 10 月 22 日版)』より筆者作成。

注：性質が近い製品を一つの品目にまとめ、その HS コード(6 桁)、輸入シェアと関税率を示している。詳細は参考図表 4 を参照。なお、関税率は WTO 関税データベースで取得できる HS コード(6 桁)ベースの平均実行関税率(MFN 税率の単純平均)を示す。

4.3 関税削減額の試算

最後に、関西の輸出入における台湾の CPTPP 加盟による関税削減額を試算する。WTO 関税データベースで提供されている台湾と日本の平均実行関税率を適用し、2021 年 1 月から 11 月までの関西の対台湾輸出入に課される関税額を計算する。具体的に、輸出金額に台湾の対日輸入適用関税率、輸入金額に日本の対台輸入適用関税率をかけることで、現行の関税額を計算する。台湾の加盟が実現された場合、工業製品が原則的に無関税になるため、現行の関税額を関税削減額とみなす。ただし、実際の関税引き下げ対象製品と引き下げ幅は交渉結果によって変わること、また引き下げが段階的に行われることで、関税削減効果がすぐに表れない可能性があることに注意を要する。

試算した結果、台湾への輸出における関税削減額は 223 億円、関税削減率は 1.2%となる¹⁰。一方、台湾からの輸入における関税削減額は 48 億円、関税削減率は 0.6%となる¹¹。したがって、関

¹⁰ WTO 関税データベースで提供されている台湾の 2021 年の HS コード 6 桁ベース(HS2017)の平均実行関税率を用いた。関西から台湾への輸出で、従量税と関税率の記載のない品目(7 品目)を除き、従価税が課される 2691 品目を対象に、関税削減額＝輸出金額×平均実行関税率、関税削減率＝関税削減額÷輸出金額で計算した。

¹¹ WTO 関税データベースで提供されている日本の 2020 年の HS コード 6 桁ベース(HS2017)の平均実行関税率を用いた。台湾から関西への輸入で、従量税と関税率の記載のない品目(8 品目)を除き、従価税が課される 1944 品目を対象に、関税削減額＝輸入金額×平均実行関税率、関税削減率＝関税削減額÷輸入金額で計算した。

西が輸出で得られる関税削減率の方が、輸入で台湾に与える関税削減率を上回る。そのため、台湾の CPTPP 加盟は、台湾よりも関西に大きな関税削減効果を与えるとことになる。

5. 関税以外の面での影響

前述したように、関西と台湾は主要産業において、産業内の分業体制が築かれており、高度な相互補完関係にある。特に、多くの工業製品に欠かせない半導体等電子部品・デバイスにおいて、関西の対台湾輸入依存度は極めて高い。台湾が CPTPP 加盟国となった場合、完全累積制度の下で原産地規則を満たすことがより容易になり、関西企業においては輸出入のコスト削減と貿易手続きの簡素化につながる事が期待される。

また、関西には輸出ポテンシャルの高い非輸出事業所が多く存在しており、輸出の裾野拡大の余地が大きい(通商白書 2016)。これまで、アジア諸国への進出に際し、日台間の産業協力は有力な選択肢とされてきた(三菱総合研究所 2018 ; アジア経済研究所等 2015)。その理由として、始めに、日台企業の強みが補完的であることを挙げたい。台湾企業は大量生産体制と堅実な産業クラスターを有し、製造基盤に強みを持つ一方、日本企業はブランド力と技術力で優位に立っている(日本貿易振興機構 2010)。次に、台湾企業が持つ華僑・華人ネットワークと台湾政府の新南向政策による支援は¹²、中国・東南アジア市場進出のためのゲートウェイを日本企業に提供してくれるだろう。最後に、台湾の投資環境は国際的に高く評価されており¹³、日台民間投資協定締結による安定且つ秩序ある投資環境も保障されている。また、両国は民主主義や法の支配という普遍的価値観と友好的な民間関係を共有しているため、通商リスクも低い。

台湾が CPTPP に加盟することで投資と通商に関するルールが共有され、日本企業にとっては台湾と連携したグローバル・サプライチェーンの構築が容易になる。その結果、日台間の産業協力が更に促進され、生産委託や共同研究、又は合併企業の設立、第三国での販売協力等幅広い連携が行われることで、産業競争力を共同で向上させることを通じて、互いの利益増加に繋がることが期待される。

¹² 新南向政策とは、台湾政府が 2016 年より実施し、ASEAN 諸国、南アジア、オーストラリア、ニュージーランドの合計 18 カ国を対象国として、相互投資の促進と地域連携の深化を図る政策である。

¹³ 世界経済フォーラム(The World Economic Forum)2019 年の国際競争力レポート(The Global Competitiveness Report 2019)によると、台湾は 141 ヶ国中 12 位、アジア・太平洋地域で 4 位にランクインした。また、米ビジネス環境リスク評価会社(Business Environment Risk Intelligence)が発表した 2021 年第 2 回の全世界投資環境リスク評価の報告書で台湾は世界 4 位であった。そして、世界銀行(World Bank)が発表する報告書「2020 年ビジネス環境の現状」(Doing Business 2020)では、台湾のビジネスのしやすさは 190 ヶ国中の 15 位であった。

6. 結論

本稿は、貿易統計のデータを詳細に分析することで、関西・台湾間における貿易の特徴を明らかにするとともに、台湾が CPTPP に加盟した場合、関税撤廃により関西の産業がどのような影響を受けるか示した。加えて、関西企業のグローバル・サプライチェーン構築に台湾の CPTPP 加盟が及ぼす影響について考察した。得られた結論は以下の6点に要約できる。

- (1) 台湾は関西にとって重要な貿易相手である。ASEAN と EU を除くと、輸出入の両方において中国と米国に次ぐ第 3 位となっている。関西から台湾への主な輸出品目は半導体、半導体等製造装置や測定用又は検査用機器、電子部品・デバイス(半導体を除く)等である。主な輸入品目は半導体、卑金属及びその製品、プラスチック及びその製品等となっている。
- (2) 半導体関連産業では関西と台湾の得意分野が異なっており、補完的関係である。台湾への輸出は主に実装されていない記憶素子及びフラッシュメモリー、製造装置や測定用又は検査用機器であるのに対して、輸入は主にプロセッサ及びコントローラーとその他の集積回路、ROM と DRAM である。
- (3) 台湾の輸入市場で、日本企業は電子部品・デバイスの材料と半導体等製造装置等において市場占有率が高い。しかし、対台湾輸出の主要品目である半導体を含み、電子部品・デバイス、電気機器及び機械類等多くの産業において、ECFA によって低い関税率が適用されている中国からの競争に直面している。一方、関西企業は半導体の調達で台湾企業に強く依存している。
- (4) 台湾が CPTPP に加盟した場合、電子部品・デバイス・電子回路製造業、機械器具製造業、電気機械器具製造業、化学工業、非鉄金属製造業、自転車・同部分品製造業等、関西の主要産業の多くで関税撤廃による価格競争力の強化が期待される。一方、化学工業、プラスチック製品製造業、卑金属製造業等は価格が低下した輸入品の増加による負の影響も受ける。なお、関税削減率の試算結果からは、関西が輸出で得られる関税削減率の方が、輸入で台湾に与える関税削減率を上回る。そのため、台湾の CPTPP 加盟は、台湾よりも関西に大きな関税削減効果を与える。
- (5) 関西と台湾は主要産業において産業内分業体制が築かれている。台湾が CPTPP 加盟国となった場合、完全累積制度の下で原産地規則を満たすことがより容易になるだけでなく、輸出入のコスト削減と貿易手続きの簡素化が可能となろう。
- (6) 加えて、台湾が CPTPP に加盟した場合、投資と通商に関するルールが共有されることで、台湾と連携したグローバル・サプライチェーンの構築がより容易になる。日台間の産業協力が更に促進されることで、産業の競争力が向上し、互いの利益増加に繋がることが期待される。

2021 年 9 月に中国と台湾が相次いで加盟を申請した後、12 月には更に南米エクアドルが申請手続きを行い、同月に韓国が加盟するための国内手続きに着手したと報じられている。今後 CPTPP の加盟国拡大によって、地域統合が更に広がり、グローバル・サプライチェーン構築の戦略にも影響を与える。特に関西の主要産業である電子部品・デバイス・電子回路製造業では、台湾、中国及び

韓国との連携が強いことから、加盟申請がサプライチェーン構築に与える影響に関する考察を進めていくことは、今後の課題である。

参考文献

- アジア経済研究所・財団法人中華経済研究院(2015)「日台ビジネスアライアンスの東南アジアにおける現状と可能性」(https://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Reports/Collabo/cier_2015.html、2022年1月23日閲覧)
- 経済産業省(2016)「第3章 中堅・中小企業の輸出拡大をはじめとする地域の対外経済関係」『通商白書 2016』
- 三菱総合研究所(2018)「平成29年度新興国市場開拓事業(【東南アジア等】日台企業の第三国市場開拓に関する可能性調査)報告書」(https://www.meti.go.jp/meti_lib/report/H29FY/000216.pdf、2021年1月23日閲覧)
- 日本貿易振興機構(2010)「日台ビジネスアライアンス研究会報告書」(<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2010/07000280.html>、2022年1月23日閲覧)
- 日本貿易振興機構(2021)「2021年度 海外進出日系企業実態調査(アジア・オセアニア編)」(https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/6e5157e362606548/20210045.pdf、2022年1月23日閲覧)
- 李詩欽(2021)「台湾 ICT 産業の現状と将来の発展及び日台協力」、『交流』No.959
- 渡邊真理子・加茂具樹・川島富士雄・川瀬剛志(2021)「中国の CPTPP 参加意思表示の背景に関する考察」、RIETI Policy Discussion Paper Series 21-P-016

参考図表

参考図表1 HSコード4桁で見た関西の対台湾輸出金額上位50品目

順位	品目名	HS コード	輸出金額 (百万円)	輸出 シェア
1	集積回路	8542	701,858	38.8%
2	半導体ボール、半導体ウエハー、半導体デバイス、集積回路又はフラットパネルディスプレイの製造に専ら又は主として使用する機器、第84類の注9(C)の機器並びに部分品及び附属品	8486	159,574	8.8%
3	再輸出品	0000	101,540	5.6%
4	固定式、可変式又は半固定式のコンデンサー	8532	62,976	3.5%
5	プラスチック製のその他の板、シート、フィルム、はく及びストリップ	3920	45,964	2.5%

順位	品目名	HS コード	輸出金額 (百万円)	輸出 シェア
6	ダイオード、トランジスターその他これらに類する半導体デバイス、光電性半導体デバイス(光電池(モジュール又はパネルにしてあるかないかを問わない)を含む)、発光ダイオード(LED)及び圧電結晶素子	8541	30,862	1.7%
7	部分品及び附属品(8711 から 8713 までの車両のものに限る)(8711：モーターサイクル、補助原動機付きの自転車及びサイドカー。8712：自転車。8713：身体障害者用又は病人用の車両)	8714	25,433	1.4%
8	ターボジェット、ターボプロペラその他のガスタービン	8411	25,144	1.4%
9	鉄又は非合金鋼の半製品	7207	21,493	1.2%
10	印刷回路	8534	20,918	1.2%
11	光ファイバー、光ファイバーケーブル、偏光材料製のシート及び板並びにレンズ(コンタクトレンズを含む)、プリズム、鏡その他の光学用品	9001	18,672	1.0%
12	写真用の化学調製品(ワニス、膠着剤、接着剤その他これらに類する調製品を除く)及び写真用の物品で混合していないもの	3707	15,330	0.8%
13	鋳物用の鋳型又は中子の調製粘結剤並びに化学工業(類似の工業を含む)において生産される化学品及び調製品	3824	15,143	0.8%
14	プラスチック製の板、シート、フィルム、はく、テープ、ストリップその他のへん平な形状の物品(接着性を有するものに限るものとし、ロール状であるかないかを問わない)	3919	13,194	0.7%
15	測定用又は検査用の機器及び輪郭投影機	9031	12,136	0.7%
16	電気回路の開閉用、保護用又は接続用の機器並びに光ファイバー用又は光ファイバーケーブル用の接続子	8536	11,728	0.6%
17	医薬品	3004	11,642	0.6%
18	金(白金をめっきした金を含むものとし、加工していないもの、一次製品及び粉状のものに限る)	7108	11,400	0.6%
19	トランスフォーマー、スタティックコンバーター(例えば、整流器)及びインダクター	8504	10,713	0.6%
20	水素、希ガスその他の非金属元素	2804	10,667	0.6%
21	機械類	8479	9,786	0.5%
22	ペイント及びワニス並びにこの類の注 4 の溶液	3208	9,003	0.5%
23	オシロスコープ、スペクトラムアナライザーその他の電気的量の測定用又は検査用の機器(9028 の計量器を除く)及びアルファ線、ベータ線、ガンマ線、エックス線、宇宙線その他の電離放射線の測定用又は検出用の機器	9030	8,606	0.5%
24	ポリアセタールその他のポリエーテル、エポキシ樹脂及びポリカーボネート、アルキド樹脂、ポリアリルエステルその他のポリエステル(一次製品に限る)	3907	8,475	0.5%
25	電気機器	8543	8,016	0.4%
26	精製銅又は銅合金の塊	7403	7,312	0.4%
27	美容用、メーキャップ用又は皮膚の手入れ用の調製品及びマニキュア用又はペディキュア用の調製品	3304	7,160	0.4%
28	電動機及び発電機(原動機とセットにした発電機を除く)	8501	6,571	0.4%
29	プラスチック製のその他の板、シート、フィルム、はく及びストリップ	3921	6,529	0.4%
30	その他の合金鋼のその他の棒、その他の合金鋼の形鋼及び合金鋼又は非合金鋼の中空ドリル棒	7228	6,325	0.3%
31	液晶デバイス、レーザー(レーザーダイオードを除く)及びその他の光学機器	9013	6,141	0.3%

順位	品目名	HS コード	輸出金額 (百万円)	輸出 シェア
32	ビデオゲーム用のコンソール及び機器、遊戯場用、テーブルゲーム用又は室内遊戯用の物品	9504	6,068	0.3%
33	8535 から 8537 までの機器に専ら又は主として使用する部分品	8538	6,049	0.3%
34	蓄電池	8507	6,048	0.3%
35	石その他の鉱物性材料の製品(炭素繊維及びその製品並びに泥炭製品を含むものとし、他の項に該当するものを除く)	6815	5,801	0.3%
36	フロート板ガラス及び磨き板ガラス	7005	5,791	0.3%
37	元素を電子工業用にドーブ処理したもの(円盤状、ウエハー状その他これらに類する形状にしたものに限る)及び化合物を電子工業用にドーブ処理したもの	3818	5,519	0.3%
38	その他のプラスチック製品及び 3901 から 3914 までの材料(プラスチックを除く)から成る製品	3926	5,459	0.3%
39	一次電池又は蓄電池のくず、使用済みの一次電池及び蓄電池並びに機器の電気式部分品	8548	5,357	0.3%
40	生理用のナブキン(パッド)及びタンポン、乳児用のおむつ及びおむつ中敷きその他これらに類する物品(材料を問わない)	9619	5,340	0.3%
41	玉軸受及びころ軸受	8482	5,196	0.3%
42	ブルドーザー、アングルドーザー、地ならし機、スクレーパー、メカニカルショベル、エキスカベーター、ショベルローダー、突固め用機械及びロードローラー	8429	4,927	0.3%
43	有機合成着色料(化学的に単一であるかないかを問わない)、この類の注 3 の調製品で有機合成着色料をもととしたもの及び蛍光増白剤又はルミノホアとして使用する種類の合成した有機物(化学的に単一であるかないかを問わない)	3204	4,865	0.3%
44	環式炭化水素	2902	4,382	0.2%
45	遠心分離機(遠心式脱水機を含む)並びに液体又は気体のろ過機及び清浄機	8421	4,278	0.2%
46	コック、弁その他これらに類する物品	8481	4,276	0.2%
47	電気制御用又は配電用の盤、パネル、コンソール、机、キャビネットその他の物品及び数値制御用の機器	8537	4,136	0.2%
48	加熱、調理、焙焼、蒸留、精留、滅菌、殺菌、蒸気加熱、乾燥、蒸発、凝縮、冷却その他の温度変化による方法により材料を処理する機器並びに瞬間湯沸器及び貯蔵式湯沸器(電気式のものを除く)	8419	3,882	0.2%
49	電話機(携帯回線網用その他の無線回線網用の電話を含む)及びその他の機器(音声、画像その他のデータを送受信するものに限るものとし、有線又は無線回線網(例えば、LAN 又は WAN)用の通信機器を含む)(8443、8525、8527 及び 8528 の送受信機器を除く)	8517	3,826	0.2%
50	炭化水素のハロゲン化誘導体	2903	3,822	0.2%

参考図表2 HSコード4桁で見た関西の対台湾輸入金額上位50品目

順位	品目名	HS コード	輸入金額 (百万円)	輸入 シェア
1	集積回路	8542	210,923	28.3%
2	再輸入品	0000	122,786	16.5%
3	ポリアセタールその他のポリエーテル、エポキシ樹脂及びポリカーボネート、アルキド樹脂、ポリアリルエステルその他のポリエステル(一次製品に限る)	3907	17,800	2.4%
4	ダイオード、トランジスターその他これらに類する半導体デバイス、光電性半導体デバイス(光電池(モジュール又はパネルにしてあるかないかを問わない)を含む)、発光ダイオード(LED)及び圧電結晶素子	8541	15,407	2.1%
5	硫酸塩、みょうばん及びペルオキシ硫酸塩(過硫酸塩)	2833	14,274	1.9%
6	ディスク、テープ、不揮発性半導体記憶装置、スマートカードその他の媒体	8523	13,790	1.9%
7	鉄鋼製のねじ、ボルト、ナット、コーチスクリュー、スクリューフック、リベット、コッター、コッターピン、座金(ばね座金を含む)その他これらに類する製品	7318	13,141	1.8%
8	鉄又は非合金鋼のフラットロール製品(熱間圧延をしたもので幅が 600 ミリメートル以上のものに限るものとし、クラッドし、めっきし又は被覆したものを除く)	7208	12,128	1.6%
9	自動データ処理機械及びこれを構成するユニット並びに磁気式又は光学式の読取機、データをデータ媒体に符号化して転記する機械及び符号化したデータを処理する機械(他の項に該当するものを除く)	8471	11,349	1.5%
10	光ファイバー(束にしたものを含む)、光ファイバーケーブル(8544 のものを除く)、偏光材料製のシート及び板並びにレンズ(コンタクトレンズを含む)、プリズム、鏡その他の光学用品	9001	9,694	1.3%
11	プラスチック製のその他の板、シート、フィルム、はく及びストリップ	3920	8,085	1.1%
12	銅のはく(厚さ(補強材の厚さを除く)が 0.15 ミリメートル以下のものに限るものとし、印刷してあるかないか又は紙、板紙、プラスチックその他これらに類する補強材により裏張りしてあるかないかを問わない)	7410	8,038	1.1%
13	8525 から 8528 までの機器に専ら又は主として使用する部分品	8529	7,906	1.1%
14	半導体ボール、半導体ウエハー、半導体デバイス、集積回路又はフラットパネルディスプレイの製造に専ら又は主として使用する機器、第 84 類の注 9(C)の機器並びに部分品及び附属品	8486	7,704	1.0%
15	その他の家具及びその部分品	9403	7,010	0.9%
16	貴金属又は貴金属を張った金属のくず及び主として貴金属の回収に使用する種類のその他のくずで貴金属又はその化合物を含有するもの	7112	6,564	0.9%
17	鉄又は非合金鋼のフラットロール製品(冷間圧延をしたもので、幅が 600 ミリメートル以上のものに限るものとし、クラッドし、めっきし又は被覆したものを除く)	7209	6,524	0.9%
18	鋳物用の鋳型又は中子の調製粘結剤並びに化学工業(類似の工業を含む)において生産される化学品及び調製品	3824	5,785	0.8%
19	電話機(携帯回線網用その他の無線回線網用の電話を含む)及びその他の機器(音声、画像その他のデータを送受信するものに限るものとし、有線又は無線回線網(例えば、LAN 又は WAN)用の通信機器を含む)(8443、8525、8527 及び 8528 の送受信機器を除く)	8517	5,543	0.7%
20	元素を電子工業用にドーブ処理したもの(円盤状、ウエハー状その他これらに類する形状にしたものに限る)及び化合物を電子工業用にドーブ処理したもの	3818	5,510	0.7%
21	プラスチック製の運搬用又は包装用の製品及びプラスチック製の栓、ふた、キャップその他これらに類する物品	3923	5,080	0.7%

順位	品目名	HS コード	輸入金額 (百万円)	輸入 シェア
22	ギヤボックスその他の変速機(トルクコンバーターを含む)、伝動軸(カムシャフト及びクランクシャフトを含む)、クランク、軸受箱、滑り軸受、歯車、歯車伝動機、ボールスクリュー、ローラスクリュー、はずみ車、プーリー(プーリーブロックを含む)、クラッチ及び軸継手(自在継手を含む)	8483	4,998	0.7%
23	その他のプラスチック製品及び第 39.01 項から第 39.14 項までの材料(プラスチックを除く)から成る製品	3926	4,680	0.6%
24	ステンレス鋼のフラットロール製品(幅が 600 ミリメートル以上のものに限る)	7219	4,247	0.6%
25	コック、弁その他これらに類する物品	8481	4,064	0.5%
26	8470 から 8472 までの機械に専ら又は主として使用する部分品及び附属品(カバー、携帯用ケースその他これらに類する物品を除く)	8473	4,036	0.5%
27	測定用又は検査用の機器(この類の他の項に該当するものを除く)及び輪郭投影機	9031	4,011	0.5%
28	非環式アルコール並びにそのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体	2905	3,898	0.5%
29	フェノール及びフェノールアルコール	2907	3,547	0.5%
30	部分品及び附属品(8701 から 8705 までの自動車のものに限る)	8708	3,527	0.5%
31	印刷回路	8534	3,516	0.5%
32	鉄又は非合金鋼のフラットロール製品(クラッドし、めっきし又は被覆したもので、幅が 600 ミリメートル以上のものに限る)	7210	3,256	0.4%
33	機械類	8479	3,234	0.4%
34	液体ポンプ(計器付きであるかないかを問わない)及び液体エレベーター	8413	3,195	0.4%
35	合成繊維の長繊維の糸(67 デシテックス未満の単繊維のものを含むものとし、縫糸及び小売用にしたものを除く)	5402	3,095	0.4%
36	ガラス(7003 から 7005 までのガラスを曲げ、縁加工し、彫り、穴をあけ、ほうろう引きをし又はその他の加工をしたものに限るものとし、枠付きのもの及び他の材料を取り付けたものを除く)	7006	3,029	0.4%
37	部分品及び附属品(8711 から 8713 までの車両のものに限る)(8711: モーターサイクル、補助原動機付きの自転車及びサイドカー。8712: 自転車。8713: 身体障害者用又は病人用の車両)	8714	2,687	0.4%
38	その他の鉄鋼製品	7326	2,685	0.4%
39	8456 から 8465 までの機械に専ら又は主として使用する部分品及び附属品(工作物保持具、ツールホルダー、自動開きダイヘッド、割出台その他機械用の特殊な附属装置を含む)並びに手持工具用ツールホルダー	8466	2,580	0.3%
40	トランスフォーマー、スタティックコンバーター(例えば、整流器)及びインダクター	8504	2,541	0.3%
41	気体ポンプ、真空ポンプ、気体圧縮機及びファン並びに換気用又は循環用のフード	8414	2,493	0.3%
42	その他の合金鋼のフラットロール製品(幅が 600 ミリメートル以上のものに限る)	7225	2,466	0.3%
43	不織布	5603	2,386	0.3%
44	水素、希ガスその他の非金属元素	2804	2,330	0.3%
45	スパナとレンチ(トルクレンチを含み、手回しのものに限る物とし、タップ回しを除く)並びに互換性スパナソケット(ハンドル付きであるかないかを問わない)	8204	2,240	0.3%
46	手工具(動力駆動式であるかないかを問わない)用又は加工機械用の互換性工具	8207	2,084	0.3%
47	冷凍野菜(調理していないもの及び蒸気又は水煮による調理をしたものに限る)	0710	2,043	0.3%

順位	品目名	HS コード	輸入金額 (百万円)	輸入 シェア
48	銅の板、シート及びストリップ(厚さが0.15 ミリメートルを超えるものに限る)	7409	1,998	0.3%
49	蓄電池(	8507	1,971	0.3%
50	電気回路の開閉用、保護用又は接続用の機器並びに光ファイバー(束にしたものを含む) 用又は光ファイバーケーブル用の接続子	8536	1,957	0.3%

参考図表3 日本製品に対する台湾の輸入関税 (HS コード 6 桁で見た関西側の輸出金額上位 100 品目のうち無関税でないもの)(詳細)

品目名	HS コード	輸出 シェア	平均実行 関税率
ソース、ソース用の調製品、混合調味料、マスタードの粉及びミール並びに調製したマスタードー その他のもの	210390	0.1%	9.3%
調製食料品(他の項に該当するものを除く)ーその他のもの	210690	0.1%	17.3%
炭化水素のハロゲン化誘導体ー塩化ビニル(クロロエチレン)	290321	0.1%	1.0%
不飽和環式モノカルボン酸並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらの誘導体ーメタクリル酸のエステル	291614	0.1%	2.5%
カルボキシイミド官能化合物及びイミン官能化合物ーイミド及びその誘導体並びにこれらの塩	292519	0.1%	0.9%
医薬品ーその他のもの	300490	0.4%	1.5%
有機合成着色料及びこの類の注3の調製品で有機合成着色料をもとしたものー顔料及びこれをもとした調製品	320417	0.2%	5.0%
液状ラスターその他これに類する調製品	320730	0.1%	3.0%
ペイント及びワニス並びにこの類の注4の溶液ーアクリル重合体又はビニル重合体をもとしたもの	320820	0.4%	4.6%
有機界面活性剤並びに調製界面活性剤、調製洗剤、補助的調製洗剤及び清浄用調製品ー調製品(小売用にしたものに限る)	340220	0.1%	4.0%
鋳物用の鋳型又は中子の調製粘結剤並びに化学工業において生産される化学品及び調製品ーその他のもの	382499	0.8%	1.8%
ポリカーボネート	390740	0.3%	2.5%
プラスチック製の板、シート、フィルム、はく、テープ、ストリップその他のへん平な形状の物品ーその他のもの	391990	0.7%	3.3%
プラスチック製のその他の板、シート、フィルム、はく及びストリップーアクリル重合体製のものーポリ(メタクリル酸メチル)製のもの	392051	0.2%	3.7%
プラスチック製のその他の板、シート、フィルム、はく及びストリップーポリ(エチレンテレフタレート)製のもの	392062	0.7%	2.8%
プラスチック製のその他の板、シート、フィルム、はく及びストリップー酢酸セルロース製のもの	392073	0.9%	5.0%
プラスチック製のその他の板、シート、フィルム、はく及びストリップーその他のプラスチック製のもの	392099	0.5%	3.7%
プラスチック製のその他の板、シート、フィルム、はく及びストリップー多泡性のものーその他のプラスチック製のもの	392119	0.2%	5.0%
プラスチック製のその他の板、シート、フィルム、はく及びストリップーその他のもの	392190	0.2%	4.8%
その他のプラスチック製品及び3901 から 3914 までの材料(プラスチックを除く)から成る製品ーその他のもの	392690	0.3%	5.0%

品目名	HS コード	輸出 シェア	平均実行 関税率
粉状又は粒状の天然又は人造の研磨材料を紡織用繊維、紙、板紙その他の材料に付着させた物品－その他の材料に付着させたもの	680530	0.2%	10.0%
石その他の鉱物性材料の製品－黒鉛その他の炭素の製品(電気用品を除く)	681510	0.2%	10.0%
石その他の鉱物性材料の製品－その他の製品——その他のもの	681599	0.1%	5.5%
フロート板ガラス及び磨き板ガラス(吸収層、反射層又は無反射層を有するか有しないかを問わないものとし、その他の加工をしたものを除く)－金属の線又は網を入れてないその他のガラス——その他のもの	700529	0.3%	6.9%
ガラス(7003 から 7005 までのガラスを曲げ、縁加工し、彫り、穴をあけ、ほうろう引きをし又はその他の加工をしたものに限るものとし、枠付きのもの及び他の材料を取り付けたものを除く)	700600	0.1%	10.0%
銅のはく(厚さが 015 ミリメートル以下のものに限るもの)－裏張りしていないもの——精製銅のもの	741011	0.1%	4.5%
その他の銅製品－その他のもの	741999	0.2%	4.0%
工具用の板、棒、チップその他これらに類する物品	820900	0.1%	2.5%
ターボジェット、ターボプロペラその他のガスタービン－部分品——その他のもの	841199	1.4%	2.0%
冷凍冷蔵庫(それぞれ独立した外部扉を有するものに限る)	841810	0.1%	4.9%
加熱、調理、ばい焼、蒸留、精留、滅菌、殺菌、蒸気加熱、乾燥、蒸発、凝縮、冷却その他の温度変化による方法により材料を処理する機器並びに瞬間湯沸器及び貯蔵式湯沸器(電気式のものを除く)－その他の機器——その他のもの	841989	0.2%	2.2%
気体のろ過機及び清浄機——その他のもの	842139	0.1%	2.5%
レーザーを使用して材料を取り除くことにより加工する機械及びウォータージェット切断機械	845611	0.1%	2.0%
その他の機械類－その他のもの	847989	0.3%	2.1%
機械類－部分品	847990	0.1%	0.6%
コック、弁その他これらに類する物品－その他の物品	848180	0.2%	2.6%
玉軸受	848210	0.2%	6.5%
歯車及び歯車伝動機、ボールスクリュウ、ローラスクリュー並びにギヤボックスその他の変速機	848340	0.1%	5.4%
その他の直流電動機及び直流発電機——出力が 750 ワット以下のもの	850131	0.2%	6.3%
リチウム・イオン蓄電池	850760	0.2%	2.5%
抵抗加熱炉	851410	0.1%	1.5%
その他の電熱機器－その他のもの	851679	0.2%	3.7%
電気回路の開閉用、保護用又は接続用の機器並びに光ファイバー用又は光ファイバーケーブル用の接続子－自動遮断器	853620	0.1%	9.2%
電気回路の開閉用、保護用又は接続用の機器並びに光ファイバー用又は光ファイバーケーブル用の接続子－その他のスイッチ	853650	0.2%	0.6%
電気回路の開閉用、保護用又は接続用の機器並びに光ファイバー用又は光ファイバーケーブル用の接続子－その他の機器	853690	0.2%	0.6%
電気制御用又は配電用の盤、パネル、コンソール、机、キャビネットその他の物品及び数値制御用の機器－使用電圧が 1,000 ボルト以下のもの	853710	0.2%	3.8%
8535 から 8537 までの機器に専ら又は主として使用する部分品－その他のもの	853890	0.3%	3.3%
紫外線ランプ、赤外線ランプ	853949	0.1%	3.4%
電気機器－その他の機器	854370	0.4%	0.7%
機器の電気式部分品	854890	0.3%	0.8%
自転車の部分品及び附属品－ブレーキ(コースターブレーキハブ及びハブブレーキを含む)及びその部分品	871494	0.6%	5.0%

品目名	HS コード	輸出 シェア	平均実行 関税率
自転車の部分品及び附属品－ペダル及びギヤクランク並びにこれらの部分品	871496	0.2%	5.0%
自転車の部分品及び附属品－その他のもの	871499	0.5%	5.0%
その他の液晶デバイスおよび光学機器	901380	0.3%	3.8%
自動調整機器－ その他の機器―― その他のもの	903289	0.1%	5.0%
生理用のナプキン(パッド)及びタンポン、乳児用のおむつ及びおむつ中敷きその他これらに類する物品 (材料を問わない)	961900	0.3%	5.2%

参考図表 4 台湾製品に対する日本の輸入関税 (HS コード 6 桁で見た関西側の輸入金額上位 100 品目のうち無関税でないもの)(詳細)

品目名	HS コード	輸入 シェア	平均実行 関税率
冷凍野菜(調理してないもの及び蒸気又は水煮による調理をした物に限る)－枝豆とその他のもの	071029	0.3%	7.3%
硫酸塩、みょうばん及びペルオキシ硫酸塩(過硫酸塩)－ニッケルのもの	283324	1.6%	3.9%
硫酸塩、みょうばん及びペルオキシ硫酸塩(過硫酸塩)－その他のもの	283329	0.3%	2.0%
エチレングリコール(エタンジオール)とプロピレングリコール(プロパン-1,2-ジオール)以外の二価アルコール	290539	0.5%	1.6%
4,4'-イソプロピリデンジフェノール(ビスフェノール A 又はジフェニロールプロパン)及びその塩	290723	0.4%	3.1%
顔料及び調製品－二酸化チタンの含有量が乾燥状態において全重量の 80%以上のもの	320611	0.2%	3.2%
鋳物用の鋳型又は中子の調製粘結剤並びに化学工業(類似の工業を含む)において生産される化学 品及び調製品－その他のもの	382499	0.7%	0.9%
スチレンの重合体(一次製品に限る)－アクリロニトリル-ブタジエン-スチレン(ABS) 共重合体	390330	0.2%	3.1%
その他のポリエーテル	390720	0.4%	0.9%
エポキシ樹脂	390730	0.2%	1.6%
ポリ(エチレンテレフタレート)－粘度数が 1 グラムにつき 78 ミリリットル以上のもの	390761	1.1%	3.1%
ポリ(エチレンテレフタレート)－その他のもの	390769	0.3%	3.1%
その他のポリエステル－その他のもの	390799	0.2%	2.1%
プラスチック製のその他の板、シート、フィルム、はく及びストリップ－プロピレンの重合体製 のもの	392020	0.2%	4.8%
プラスチック製のその他の板、シート、フィルム、はく及びストリップ－ポリ(エチレンテレフ タレート)製のもの	392062	0.7%	4.8%
プラスチック製の運搬用又は包装用の製品及びプラスチック製の栓、ふた、キャップその他これ らに類する物品－瓶、フラスコその他これらに類する製品	392330	0.4%	3.9%
プラスチック製の運搬用又は包装用の製品及びプラスチック製の栓、ふた、キャップその他これ らに類する物品－その他のもの	392390	0.1%	3.9%
その他のプラスチック製品及び 3901 から 3914 までの材料(プラスチックを除く)から成る製品 －その他のもの	392690	0.5%	2.6%
合成繊維の長繊維の糸(67 デシテックス未満の単繊維のものを含むものとし、縫糸及び小売用に したものを除く)－ポリエステルのも	540233	0.2%	5.2%

品目名	HS コード	輸入 シェア	平均実行 関税率
合成繊維の長繊維の糸の織物（第 54.04 項の材料の織物を含む。）－テクスチャード加工をしてないポリエステル製の長繊維の重量が全重量の 85%以上のもの	540761	0.2%	6.5%
不織布－重量が 1 平方メートルにつき 25 グラムを超え 70 グラム以下のもの	560392	0.2%	3.6%
鉄鋼製のねじ(ねじを切った製品)－その他の木ねじ	731812	0.2%	2.8%
鉄鋼製のセルフタッピングスクリュー(ねじを切った製品)	731814	0.3%	2.8%
鉄鋼製のその他のねじ及びボルト(ねじを切った製品)	731815	0.6%	2.8%
鉄鋼製のナット(ねじを切った製品)	731816	0.5%	2.8%
銅の板、シート及びストリップ(厚さが 015 ミリメートルを超えるものに限る)－銅・亜鉛合金(黄銅)の巻いたもの	740921	0.2%	3.0%
銅のはく(厚さ(補強材の厚さを除く)が 015 ミリメートル以下のものに限るもの)－裏張りしてないもの－精製銅のもの	741011	0.8%	3.0%
銅のはく(厚さ(補強材の厚さを除く)が 015 ミリメートル以下のものに限るもの)－裏張りしたもの－精製銅のもの	741021	0.3%	3.0%
アルミニウムの板、シート及びストリップ(厚さが 02 ミリメートルを超えるものに限る)－長方形(正方形を含む)のもの－アルミニウム(合金を除く)のもの	760611	0.1%	2.0%
その他のアルミニウム製品－その他のもの	761699	0.1%	3.0%

<APIR 研究員 郭秋薇、contact@apir.or.jp, 06-6485-7690>

- ・本レポートは、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当研究所の見解を示すものではありません。
- ・本レポートは信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、記載された内容は、今後予告なしに変更されることがあります。